



## 校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ⑧

令和2年7月31日（金）

### 「尊厳と敬意」

先週金曜日は4連休中でしたので、「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ」はお休みしましたが、この4連休中には、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になった中体連や高体連の公式戦の「交流試合」（中学校）や「代替試合」（高校）がたくさん行われ、多くの部活動で3年生は「引退」となりました。本来ならば、中体連、高体連の公式戦で3年間の努力の集大成を思う存分発揮し、悔いなく「引退」するところですが、已む無く、こうした形での「引退」となってしまいました。みなさんの<sup>じくじ</sup>忸怩たる思いは、察して余りあるものです。しかし、みなさんが3年間、一生懸命に取り組んできたこと、それによって身につけた力や経験、仲間との揺るぎない絆は、最後の公式戦がなかったことで決して色褪<sup>あ</sup>せるものではありません！

3年間、部活動に打ち込み、最後まで見事に全うしたこと。それが何にも代えがたい大きな価値であり、何よりも貴いものです。本当によく頑張りました。

高校は7月20日（月）に、中学校は7月30日（木）・31日（金）に人権・同和教育授業を行いました。この人権・同和教育授業では、各学年のテーマに沿って、みなさんたち一人ひとりが人権や差別について、しっかりと「考える」大切な時間でした。そこで問われていることは、「あなたはどう考えるのか？」「あなたはどうするのか（どう行動するのか）？」ということであり、他人<sup>ひと</sup>がどうだとか、社会がどうだとかということでは全くありません！ そういう意味では、みなさんたち一人ひとりの「生き方」や「あり方」について考え、それが問われた時間であったと言えます。

今の私たちの周りを見てみると、香港における中華人民共和国政府による「国家安全法」の制定や、警察官による黒人殺害によって改めて浮き彫りになったアメリカ合衆国における黒人差別、そしてわが国の新型コロナウイルス感染者に対する誹謗中傷や差別といった「人権」が侵される多くの深刻な事象が起こっています。そして、最大の「人権侵害」は戦争です。（第二次世界大戦の反省に立って、1948年に国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたのです。）

私たちにとって「人権」は、空気や水のように「あって当たり前」のものになっているかもしれませんが。しかし、「人権」は古くは13世紀のイギリスの「大憲章（マグナ＝カルタ）」、そして17世紀からの「市民革命」によって人類が王権と闘い、文字通り血を流して「獲得」してきたものなのです。

現在の「人権侵害」の様々な事象に見られるように、私たちが常に「人権」に関心を持ち、それを守っていく努力をしなければ、「人権」はいとも簡単に「侵害」される危険に晒されています。だからこそ、私たちはこの「人権」を一生懸命努力して、大切に守っていかなければならないのです。

みなさんが社会科や現代社会、政治・経済で学習したように、「人権」とは、「すべての人が生まれながらに持っている、人間らしく生きる権利」です。この地球上で生きるすべての人が例外なく持っている権利です。**誰もがみな、誰かの大切な家族であり、大切な命であるのです。**

つい最近のアメリカ合衆国で、共和党の男性議員から女性差別発言を受けた民主党のアレクサンドリア・オカシオ＝コルテス下院議員は、その発言に対して、

**「尊厳と敬意を持って他人と接することで、人は真っ当な人間になるのです。」**

と述べて、女性差別発言とその発言をした男性議員の意識や考え方がいかに理不尽であるかということとを冷静に指摘しました。

私たちの宗高・宗中は、これからも、本校に集うすべての人（みなさんも先生方も）によって、互いに「尊厳」と「敬意」を持って生活する「真っ当な」な学園であり続けたいと思っています。

新型コロナウイルスの感染拡大は、感染者数が昨日も日本全国で1,300名以上という過去最高を記録しました。また、福岡県でも4連休前に52名という過去最高の感染者数を記録し、その後も90名、101名、121名と過去最高の感染者数を更新し続けています。この状況は、緊急事態宣言発令中よりも遥に深刻な段階に入っているのかもしれませんが。いつ、どこで、誰が感染したり、濃厚接触者になっても決しておかしくない状況と言えます。改めて、**新型コロナウイルス感染を「正しく恐れて」、一人ひとりが今まで以上に厳しく感染予防を徹底**していきましょう！

校長 深瀬 信也